評価用シート２　個別保健事業の評価

* 本シートは、データヘルス計画の個別保健事業の評価のためのものです。
* 特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、医療機関受診勧奨、がん検診、後発（ジェネリック）医薬品推進など、データヘルス計画に含まれる個別保健事業について評価します。
* 「1．事業の概要」では、現行の計画書などを参考にしながら、背景と目的を簡潔にまとめ、具体的な内容、評価指標やその目標値などを整理します。
* 「2．年度ごとの経緯」では、計画期間中の実施内容について、特に、新たに始めたこと、変更したことなど、可能な範囲でその成果をまとめます。
* 「3．評価と見直し・改善案」では、アウトカムやアウトプットを主な指標として評価し、様々な視点（＝プロセス、ストラクチャーなど）から、成功要因や失敗要因を検討します。それらの要因を参考にして、見直しと改善の案を検討します。これが時期の計画につながります。
* 「4．個別保健事業　まとめ」には、すべての個別保健事業の評価を一覧としてまとめます。この一覧表は次期計画の一部にそのまま使用することができます。

１．個別保健事業　評価

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |

1．事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 背　景 |  |
| 目　的 |  |
| 具体的内容 | ※対象者、方法、実施者等 |
| 評価指標目標値 | アウトプットアウトカム | 指標 | 目標値 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| プロセス |  |
| ストラクチャー |  |

2．年度ごとの経緯

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 取組状況（変更点など） | 評　価 |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |

３．評価と見直し・改善案

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価指標 | 策定時 | 経年変化 | 指標判定\* |
| アウトカムアウトプット評価 |  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  |  |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  |  |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  |  |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  |  |  |
| 事業全体の評価 | Ａうまくいった、Ｂある程度うまくいった、Ｃあまりうまくいかなかった、Ｄまったくうまくいかなかった、Ｅわからない |
| 評価のまとめ | （プロセス、ストラクチャー評価などより、うまくいった、あるいは、うまくいかなかった要因） |
| 継続等について | このまま継続　　　多少の見直し必要　 　　大幅な見直し必要　　　継続要検討 |
| 見直し改善の案 | （考えられる見直しと改善の案） |

\* 判定の例：Ａ目標を達成、Ｂ目標は達成できなかったが、目標に近い成果あり、Ｃ目標は達成できなかったが、ある程度の効果あり、Ｄ効果があるとは言えない、Ｅ評価困難

４．個別保健事業　まとめ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 実施状況 | 成果と課題 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※適宜、枠を追加すること

１．個別保健事業　評価

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 |  |

1．事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 背　景 | 事業の背景となる状況を記入する。対象となる疾病等の現状、医療費等への影響など。「○○は近年増加傾向にあり、関連する医療費も増加しています。」など。できれば、自保険者等の数値なども記入するとよい。 |
| 目　的 | 事業の目的を、手短に、かつ明確に記入する。「本事業は、〇〇を行うことによって、△△することを目的とします。」など。 |
| 具体的内容アウトプットか、アウトカムか、どちらか明確になればよいが、分からない場合もあり（気にしない）。 | ※対象者、方法、実施者等具体的な方法について、ある程度詳しく記入する。【対象者】　基準と抽出方法、およその人数【方法】　誰が、いつ、どこで、どのようなことを行うかがわかるように。時間的な流れ（フロー）もわかるように。委託の場合はその旨記入する。※およそ、この枠がある程度埋まるくらいの内容がよい。計画時に指標や目標値があれば記入する。なければ、後付けで設定してもよいし、設定できなければ、“設定なし”でもよい（次期計画には設定するようにする）。 |
| 評価指標目標値 | アウトプットアウトカム | 指標 | 目標値 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| プロセス | プロセスやストラクチャーの主なものを記入する。マニュアルの各個別保健事業を参照。目標値はなくてもよい（通常、設定は難しい）。記入が難しいようであれば、空白でもよい。 |
| ストラクチャー |  |

2．年度ごとの経緯

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 取組状況（変更点など） | 評　価 |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 | これまでの取組（特に、第2期以降）を年度別に記入する。主に、変更したこと、新たに始めたことなどを中心に。担当者が変わっている場合が多いので、過去の記録を参照したり、以前の担当者に聞いたりして、記入する。 |  |
| 〇年度 |  | 年度ごとに、取組の評価を記入する。客観的な評価は難しいことが多いので、印象でも構わない。 |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |
| 〇年度 |  |  |

３．評価と見直し・改善案

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価指標 | 策定時 | 経年変化 | 指標判定\* |
| アウトカムアウトプット評価 |  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  |  |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  | 表下の判定の例をもとに指標ごとに、A～Eで評価する。 |  |
|  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  | 「1.個別保健事業　評価」のシートの「1．事業の概要」で記入した評価指標と目標値を再掲する。年度別の目標値がない場合などは、枠の削除などを。実際の値は実測値に記入。 |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 年　度 |  |  |  |  |  |  |  |
| 目標値 |  |  |  |  |  |  |
| 実測値 |  |  |  |  |  |  |
| 事業全体の評価 | Ａうまくいった、Ｂある程度うまくいった、Ｃあまりうまくいかなかった、Ｄまったくうまくいかなかった、Ｅわからない |
| 評価のまとめ | （プロセス、ストラクチャー評価などより、うまくいった、あるいは、うまくいかなかった要因）プロセス、ストラクチャー評価などより、さまざまな視点からうまくいった点とその要因（成功要因）、あるいは、うまくいかなかった点とその要因（失敗要因）、評価指標の変化の背景などを検討する。継続についての判断を行う（あくまで参考として）。 |
| 継続等について | このまま継続　　　多少の見直し必要　 　　大幅な見直し必要　　　継続要検討 |
| 見直し改善の案 | （考えられる見直しと改善の案）見直しと改善の案を記入する。これらが、次期計画の事業内容につながる。 |

\* 判定の例：Ａ目標を達成、Ｂ目標は達成できなかったが、目標に近い成果あり、Ｃ目標は達成できなかったが、ある程度の効果あり、Ｄ効果があるとは言えない、Ｅ評価困難

４．個別保健事業　まとめ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 実施状況 | 成果と課題 |
|  |  |  |
| データヘルス計画に含まれる個別保健事業を、原則、全部記入する。 | 各個別保健事業について、実施内容、計画期間内の実施状況等について簡単にまとめる。 | 主な指標の数値なども入れながら、成果と課題を整理する。 |
|  |  |  |
|  |  | ここに記入している内容を、次期計画内に「前期最終評価のまとめ」として記載することができる。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※適宜、枠を追加すること